

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
【発行日】平成28年4月28日 (2016.4.28)

【公開番号】特開2013-195060(P2013-195060A)  
【公開日】平成25年9月30日 (2013.9.30)  
【年通号数】公開・登録公報2013-053  
【出願番号】特願2013-54737(P2013-54737)  
【国際特許分類】

F 2 3 R 3/18 (2006.01)

F 2 3 R 3/10 (2006.01)

【 F I 】

F 2 3 R 3/18

F 2 3 R 3/10

【手続補正書】  
【提出日】平成28年3月14日 (2016.3.14)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

マイクロミキサを備える燃焼器ダイナミックスを減衰させるためのシステムであって、  
前記マイクロミキサが、

中央燃料ノズルの周りに配置された複数の混合管と、

前記中央燃料ノズルと前記複数の混合管の周りに配置され、キャップフェイスプレートと衝突プレートとを有するエンドキャップ組立体と、

前記マイクロミキサ内に配置され、前記キャップフェイスプレートから前記衝突プレートまで延在し、前記中央燃料ノズルを囲む少なくとも 1 つの環状共振器と、

を含み、

前記少なくとも 1 つの環状共振器が、

低温側孔パターンを形成する複数の孔を有する第 1 の側部と、

高温側孔パターンを形成する複数の孔を有する第 2 の側部と、

前記第 1 の側部および前記第 2 の側部によって実質的に画定される空洞と、

を含む、

システム。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの環状共振器が、混合管の共同の環状束間に配置される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記低温側孔パターンは、前記低温側孔パターン内の前記複数の孔の各々により冷却空気の噴流が第 2 の側方対向表面に実質的に衝突することが可能となるように、方向付けされる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記低温側孔パターンを形成する複数の孔が、前記高温側孔パターンを形成する複数の孔より少ない、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記低温側孔パターン内の前記各孔のサイズが、前記高温側孔パターン内の各孔のサイ

ズより小さい、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記低温側孔パターンが、前記空洞を通るように前記冷却空気を誘導するように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの環状共振器が、燃焼の動的振動数を約 1 0 0 0 H z 以上から減衰させるように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

燃焼器ダイナミックスを減衰させるための方法であって、

マイクロミキサ内で少なくとも 1 つの環状共振器を位置決めするステップであって、

前記マイクロミキサが、

中央燃料ノズルの周りに配置された複数の混合管と、

前記中央燃料ノズルと前記複数の混合管の周りに配置されたエンドキャップ組立体と

、

を含み、

前記エンドキャップ組立体が、キャップフェイスプレートと衝突プレートとを有し、

前記少なくとも 1 つの環状共振器が、前記マイクロミキサ内に配置され、前記キャップフェイスプレートから前記衝突プレートまで延在し、前記中央燃料ノズルを囲み、

前記少なくとも 1 つの環状共振器が、

低温側孔パターンを形成する複数の孔を有する第 1 の側部と、

高温側孔パターンを形成する複数の孔を有する第 2 の側部と、

前記第 1 の側部および前記第 2 の側部によって実質的に画定される空洞と、

を含む、

ステップと、

燃焼の特定の動的振動数を排除するために前記少なくとも 1 つの環状共振器を調整するステップと

を含む方法。